

2025 年 6 月 30 日
東京海上ホールディングス株式会社

「Climate & Nature レポート2025」の発行

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループCEO:小池昌洋、以下「当社」)は、今般、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)および自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の提言に沿って、気候変動・自然関連課題の取り組みを包括的にまとめた「Climate & Nature レポート2025」を発行しましたのでお知らせいたします。

東京海上グループは、これまで気候変動や自然関連課題への対応、災害レジリエンスの向上といった社会課題解決に向けた取り組みを行ってまいりました。当社として、気候変動と自然関連課題は不可分であり、総合的な取り組みをより一層進めていくため、今般、TCFD レポートと TNFD レポートを統合して情報開示を行うこととしました。

本レポートでは TCFD および TNFD 提言の4つの柱である「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」に沿って、当社グループの取り組みを説明しています。

「戦略」において、気候変動に関しては、シナリオ分析を含め、支払保険金・資産運用・事業継続への影響について分析を実施しました。また自然関連課題に関しては、LEAP アプローチ^{*1}を用いて当社および保険引受・投融資先の事業運営における自然資本への依存・インパクトを可視化し、優先的に対応していくべき業種等を特定し深堀分析を実施しました。さらに、「保険会社」、「機関投資家」、「アセットマネージャー」、「グローバルカンパニー」、「良き企業市民」という、当社が果たすべき役割ごとに、気候変動・自然関連課題に対する取り組みをお伝えしています。

特集ページでは当社グループに新たに加わった ID&E グループの取り組み、自然共生サイトに認定された「東京海上日動 未来への森(高知県安芸市・東山森林公園)」^{*2}による 30by30^{*3} への貢献についてお伝えしています。

^{*1} TNFD により策定された、自然関連課題を評価・管理するための統合アプローチ。LEAP は Locate(発見する), Evaluate(診断する), Assess(評価する), Prepare(準備する)の頭文字の組み合わせ。

^{*2} 2025 年 3 月 17 日 東京海上日動 未来への森(高知県安芸市・東山森林公園)が環境省「自然共生サイト」に認定(https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/250317_01.pdf)

^{*3} 2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、自国の陸域・海域の少なくとも 30%を保全・保護すること

今後も当社は「お客様や社会の“いざ”をお守りする」というパーパスの実現に向けて、事業活動を通じて社会課題を解決し、企業価値の更なる向上を図っていきます。また、自社の取り組みとともに、保険商品やサービスおよび投融資、さらには国際イニシアティブや企業市民活動を通じて、安心・安全でレジリエントな脱炭素社会・自然共生社会の実現に貢献してまいります。

「Climate & Nature レポート 2025」はこちらの URL からご覧いただけます。

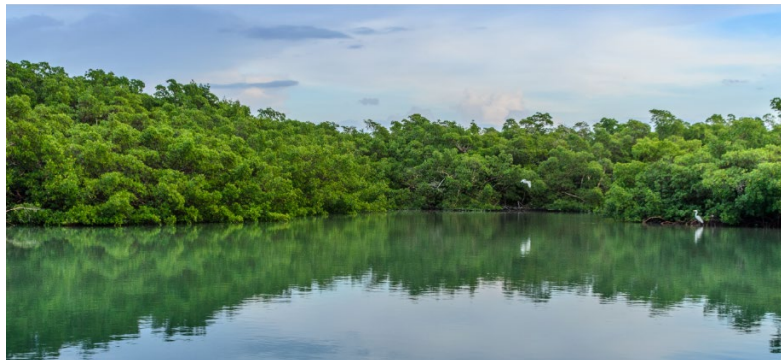
日本語版:

https://www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability_climate_nature_report_2025.pdf

英語版:

https://www.tokiomarinehd.com/en/sustainability/pdf/sustainability_climate_nature_report_2025.pdf

(英語版は 2025 年 8 月末発行予定)



東京海上ホールディングス

Climate & Nature REPORT 2025



以上